

武尊山・男体山・迦葉山

2014.10/29～31

10/29 (水) 晴れ 安曇野 I C 4:00～(水上 I C 経由) 7:00 裏見の滝駐車場 7:20～8:10 分岐～9:30 手小屋沢分岐 9:40～12:15 武尊山 (2158M、日本百名山) 12:40～(昼食・剣ヶ峰経由) 17:05 分岐～17:40 裏見の滝 P 17:45～18:20 湯檜曾温泉あべ (泊)

10/30 (木) 快晴 6:10～(水上 I C～沼田 I C 経由) 8:40 志津乗越 P 8:55～9:00 志津小屋～11:50 男体山 (2484M、日本百名山、昼) 13:00～16:00 志津乗越 P 16:15～17:40 老神温泉山楽荘 (泊)

10/31 (金) 晴れ 7:50～8:25 迦葉山入り口～9:20 玉原高原センターハウス P 9:30～11:00 尼ヶ禿山 (1466M) 11:20～(昼) 14:05 迦葉山 (1322M) 14:25～15:30 弥勒寺 P 15:40～16:00 玉原高原 P で車回収 16:20～17:00 沼田 I C～(夕食) 19:50 安曇野 I C～20:20 帰宅 (総走行 749KM)

群馬県みなかみ町の山知人の Yさんと恒例の登山を当初 10/26 に予定したが、天候の為に 31 日に変更する。ついでに百名山挑戦中の F・Dさんのサポートで 29 日は武尊山、30 日は男体山に登り、31 日は Yさんと友人の Oさん、新潟の Oさんの 6 名で尼ヶ禿山～迦葉山に登りました。

登山口の武尊神社



29日は登山口の裏見の滝駐車場に予定より1時間早く到着できたが、工事の為にその先2KMの駐車場までは進入出来なかった。前々日の降雪で1~2CM登山道に雪があり、工事の作業車の為

に泥んこの道を歩かされる。山ブドウが沢山落ちていたので、帰路に持ち帰る事にする。途中で単独行が引き返して来る。この先の「行者返し」と呼ばれるロープ・鎖場が凍結していて、軽アイゼンが無いので諦めて下山するとの事。確かに予想以上に気温が低くて寒い。「行者返し」に着いたが急な岩場が続いている。鎖も凍結している。同行者は軽アイゼンを装着し慎重に登る。降雪・凍結時は危険な場所だ。下るのはより危険なので、帰路は剣ヶ峰経由で下山する事にする。山頂からの展望は360度で素晴らしい。

霜柱と積雪



武尊山山頂から谷川連峰方面



武尊山山頂



下山は剣ヶ峰経由に変更



谷川連峰も奥白根山も白く雪を抱いている。富士山も見える。私の百名山の時は天候が悪くて何も見えなかったので展望を楽しむ。それにしても気温が低い。一面の樹氷（信州では木花とも言う）海老のしっぽである。

剣ヶ峰経由で登って来た人に登山道の状況を聞くとロープ・鎖場等危険な箇所は無いと言うので下山は剣ヶ峰経由に決める。所が剣ヶ峰から沢へ下る登山道が急で滑るので時間がかかってしまう。安全第一で仕方が無い。当初予想通り、林道歩きは途中からヘッドランプ使用になる。勿論裏見の滝見物は出来ない。予定より10分遅れでPに到着、明日登る前泊の車が2台停まっている。平日だと言うのに、今日も10組近い登山者に会った、さすがに百名山は人気だ。登山靴がドロドロになった。

30日は快晴。一路男体山に向かう。昨日奥白根山が白かったので、金精峠・志津林道の雪・凍結が心配だったが、金精峠はエンカルが撒かれている、さすがに幹線道だ。志津林道は全く降雪無、男体山も白く無いので一安心。平日なので志津乗越の駐車場も先客は5台ほど。所々に「駐車禁止」の立札と車を置

けないように大木を並べてあるのが気になる。男体山二荒山神社名なので、此処から登る登山者が増えると「参拝料」(通行料?) 収入が減るためかな? と邪推してしまふ。それにしても太郎山～大真名子山～女峰山と立派な山並みである。隠れた名山だ。(女峰山は二百名山で山友達も登ったが) 志津小屋はすぐあった。二荒山が建てたようだが、大きくて立派な小屋である。信者用か?

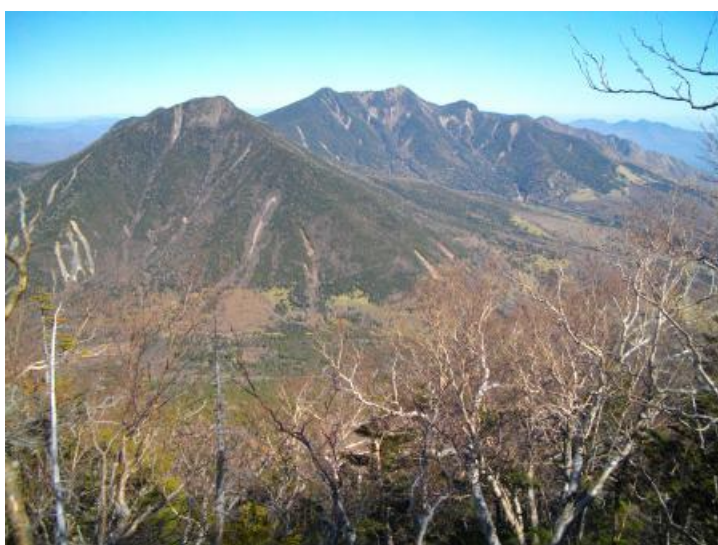
男体山志津乗越登山口



志津小屋



大真名子山～女峰山



昨日に比べれば気温も低くはないがそれでも登山道脇は霜柱の連続で下山時も融けずにそのままだった。雪は無い。昨日に比べれば登山道も整備されていて歩き易い。1合目～10合目までの表

示も建ってあるし。ただ歩きづらい箇所には道が複数できているのが気になる。山頂が近づくとも展望も良くなる。なだらかな道を進むと懐かしい山頂到着。

男体山山頂の大太刀



山頂

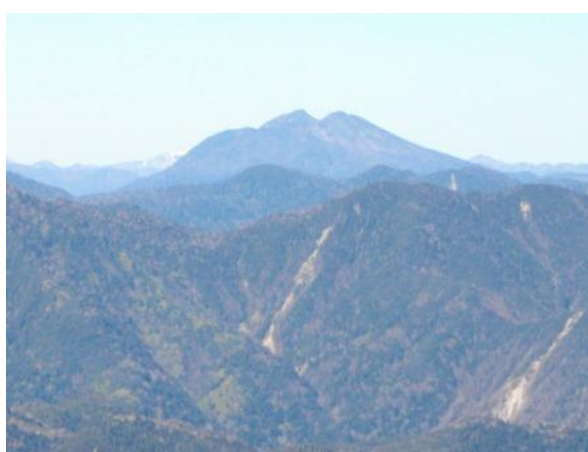


眼下に中禅寺湖・戦場ヶ原等、大展望を楽しむ。昨日登った武尊山は勿論の事、皇海山・奥白根山・会津駒ヶ岳・燧ヶ岳・平ヶ岳・赤城山・八ヶ岳・富士山等々。大真名子山・女峰山も近くて立派だ。「方位版」が無いのが惜しい展望だ。「男体山」名の標識が無いのも気になる。昨日とは違って風も無く暖かいので昼食をはさんでユックリ展望を楽しむ。此処も百名山だけあって20名位の登山者と出合った。

右奥白根山、左皇海山、下は戦場ヶ原



燧ヶ岳



中禅寺湖、富士山も見えました



吹割の滝



31日は朝食前に吹割れの滝を見物する。紅葉の真っ最中で綺麗。約束の時間に少し遅れてYさんと友人、Oさんと合流して玉原高原の登山口へ向かう。今日のコースは一昨年の11月上旬に登る約束だったが、降雪で諦めて戸神山・子持山登山に変更した経緯がある。駐車場には他の車は無。百名山でないと登山者が少ないのだ。(結局この日は他の登山者は皆無だった) 今日寒くはない日和になって快適だ。晴れではないが展望は効く。尼ヶ禿山に向けて歩く、

玉原湖尼ヶ禿山登山口



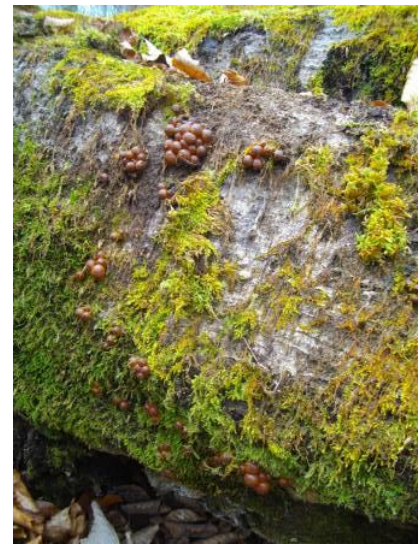
「ブナの湧水」があり、同行者達は飲み水を汲んだ。道路の終点には「東京大学玉原国際セミナーハウス」の立派な建物がある。そこからはブナ中心の樹林帯が続き、なめこ・くりたけを見つけながら

登る。収穫はあった。ただブナの倒木が古くなっているなので、収穫は少ない。

立派な案内板が要所に設置されている。ローマ字も併記され、距離と所要時間が記されていて模範的な案内板で気が効いている。Yさんから「沼田山歩きガイド」という立派な冊子を全員頂いたが沼田市は力を入れているのだ。尼ヶ禿山山頂からは、1昨日登った上州武尊山、1昨年Yさんに案内してもらって登った子持山・戸神山、赤城山などの大展望が広がっていた。

尼ヶ禿山

ブナの倒木にはなめこ



迦葉山に向けてブナ・アスナロの樹林帯を歩く。途中で昼食。白樺湿原を過ぎると迦葉山山頂に到着する。此处からは南側の展望が良い。

迦葉山



里山登山も良い物だと感じる。此处からは急な坂道があり、鎖場や岩の道もあって面白いコースだ。

「和尚台」は大きな岩の近くに小屋と縦長の大きな割れ目の上部には祠（羅漢像）が見える。

ロープ・鎖でそこまでは行けるようになっている。胎内潜りと言うようだ。

案内板



和尚台と胎内潜りの割れ目



弥勒寺は立派な寺院で天狗の面が沢山飾ってある。紅葉の最盛期で落ち葉を踏みしめながらの気持ちの良い変化に富んだ山行になりました。案内して頂いたYさん・Oさん有り難うございました。焼き芋等色々ご馳走様でした。遅刻してしまいすみませんでした。天候にも恵まれて展望を楽しめた3日間でした。なお弥勒寺については別途私のブログで近日中に報告します。

赤沼健治